

地域で学び、地域と共に歩む松本大学の今。

# 松本大学学報

# sokyu 蒼穹

2021.12 Vol.145



感染予防に最大限配慮しながら実習やアウトキャンパス・スタディを実施しています

## 特集

# 2022年度から新カリキュラムがスタート 学修の幅を広げ、 時代の変化を見据えた教育を展開

P.02

- 過去最多の17名が合格!  
「国内旅行業務取扱管理者試験」の結果 ..... P.06
- 着実に成果を上げる本学の教員養成 ..... P.07
- 健全で快適なキャンパス・職場環境づくりをめざして ..... P.12
- 2年振りとなる松商短大体育大会を開催 ..... P.15 ほか

# 2022年度から新カリキュラムがスタート 学修の幅を広げ、時代の変化を見据えた教育を展開

人生100年時代やSociety5.0と呼ばれる時代の変化の中、今後の高等教育の在り方にも変革が必要とされています。中央教育審議会による「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」(2018年)においても、予測不可能な時代を生きる人材像として、専攻分野の専門性を有するだけでなく、普遍的な知識・理解と汎用的技能を文理横断的に身に付けていくことがあげられており、学修者が生涯学び続けられるための多様で柔軟な仕組みと流動性を高める方策が求められています。これまでも本学では、地域を支える人材として誰もが身に付けたい教養教育の充実を図ってきましたが、その中に、学修の幅を広げる「学部・学科横断型教育(学修)プログラム」の設置や、これからのあるべき社会の1つとして国連が提唱しているSDGsに基づく教育を加えることとしました。これからも時代の変化を見据え、学修者本意の教育を進めていきたいと考えています。



副学長・松商短期大学部長 教授 浜崎 央

## 学部・学科の枠を超えて履修できる、多様性のある学修機会を提供

### 2つの学部・学科横断型教育(学修)プログラムの設置

学部・学科横断型教育(学修)プログラム検討会議(WG) 議長 木藤 伸夫

本学では2022年度より、個別の学部・学科のみでは十分には対応することができない、多様化・複雑化した現代社会が直面する諸課題の解決に向けて柔軟なカリキュラムを構築し、学生の多様な学修ニーズに応える、学部・学科横断型教育プログラムを

設置することになりました。具体的には、「公共政策教育」と「6次産業化マネジメント」という2つの横断型プログラムです。これらのプログラムは設定されたテーマに則り、各学部で開講されている関連科目をひとまとめにし、学部・学科や文系・理系の枠

を超えて履修できるようにしたもので、多様性のある学修機会を提供します。本学の全学部生が受講でき、各学部での専門領域の学修に加え、特定のテーマについてさらに詳しく学ぶことができます。

### 文理横断型の幅広い領域の学修が可能に

このような新たなプログラムの導入によって、既存の学部・学科の枠を超えた教育(学修)が可能となり、さらに松本大学の文系・理系両分野の教員が参加していることから、文理横断型の幅広い領域の学修を学生に提供することになります。またそれは、所属学部・学科で学修した専門的知識に加え、異なる視点をもつ他学部・他学科学生との交流を通じて学際的な視点、広い視野を身につけることをも可能にします。開講

予定の両プログラム共に自学部や他学部で開講される指定された科目を履修し12単位以上を修得することで、卒業時にプログラムの修了証書が授与されます。

2022年度入学生を対象にこの2つのプログラムが開始されますが、以降も新たなプログラムの開設を考えています。今後も、普遍的な大学教育のみでは十分に対応できない、不断に進む社会の変容とそれに伴う要求に可能な形で応えるべく、学生が

興味をもち、自ら取り組みたいと考える新規で多様な教育(学修)プログラムの構築、追加を目指していきます。こうした取り組みが、松本大学の新たな魅力として認知されていくことを願っています。

現在、学部・学科横断で取得可能な資格

- 介護職員初任者研修
- 図書館司書

## 公共的要素の強い業種で活躍できる人材の育成を目指して

### 公共政策教育プログラム

公共政策教育プログラムは、行政と企業、住民が協力し、地域の課題解決に向けた施策及び計画を立案・実施する「公共政策」に興味があり、さらにそこへ参画(就職)することを希望する学生を対象としたプログラムで、地方自治体、各種協同組合、公共開発を

行う土木・建設業や、医療、教育などの公共的要素の強い業種で活躍できる人材の育成を目指しています。なお、公務員を目指す学生には、正課外に公務員試験対策で実績のある東京リーガルマインド(LEC)の協力を得て公務員試験対策講座も開講されており、本プログラムでの学修成果をさらに活かすための体制が整っています。



### 公共政策教育プログラムの内容

#### ■将来の目標

地方自治体、各種協同組合、公共開発を行う土木・建設業や、医療、教育などの公共的要素の強い業種で活躍できる人材の育成。

	学修テーマ	授業科目
基礎科目	公共政策教育プログラムを履修するうえで基盤となる科目	<b>&lt;必修&gt;</b> 「環境問題と循環型社会」 <b>&lt;選択&gt;</b> 「法律の基礎」、「地域史(地誌)」、「経済の基礎」、「政治学」、「日本国憲法」、「地域課題理解」
基幹科目	公共政策の立案・実施において必要となる知識を身につける科目(A、B群から少なくとも一科目を受講すること)	<b>A 群</b> 「行政学」、「地域の行財政」、「財政学」、「行政法」、「地方自治論」、「生活環境論」、「地域経済論」、「労働と法」
		<b>B 群</b> 「医療社会学」、「働く人の健康」、「地域社会とスポーツ」、「スポーツ行政・政策論」、「労働と法」

## 農・食・ビジネスに関心を持つ学生が総合的に学ぶ

### 6次産業化マネジメントプログラム

6次産業化マネジメントプログラムは、時代の流れに合った自活できる農に興味があり、地域の産物を使った食品開発を目指す学生、農林水産業の振興と地域活性化に関心を持つ学生を対象としたもので、6次産業の創造や自ら起業できる人材、あるいは農業法人、JA、地方自治体、食品加工・製造業、食品卸・小売業、外食・中食業などに就職し活躍できる人材育成を目指しています。

### 大学がつなぐ6次産業のかたち

これまで本学では、大学の研究成果をもとに、地元農家や企業が連携し、多数の商品開発、製造・販売を行ってきました。また、2016年には松本大学と、安曇野市内の商工団体などでつくる「長野県中信地区6次産業推進協議会」のプロジェクトが、一般社団法人日本有機資源協会(JORA)主催の第4回「食品産業もったいない大賞」において、最高賞の農林水産大臣賞をいただきました。

こうした基盤も生かしながら学部・学科を横断し、さらに発展させたプログラムとして展開します。

2020年発売  
「本わさび茶」



2013年発売  
「信州アルクマそば」

2018年発売「りんごバターキャラメル」

### 6次産業化マネジメントプログラムの内容

#### ■将来の目標

幅広い関連領域を学習したうえで、6次産業化の創造や自ら起業できる人材、あるいは農業法人、JA、地方自治体、食品加工・製造業、食品卸・小売業、外食・中食業などで活躍できる人材の育成。

	学修テーマ	授業科目
総合学習	6次産業、農と食とビジネスについて総合的に学修する。	「自然と産業」、「環境問題と循環型社会」、「6次産業化マネジメント」
1次産業	様々な地域の農業・水産業・林業について学ぶ	「生活環境論」、「アグリビジネス経済学」、「グリーンツーリズム」
2次産業	食品衛生や食品の管理・加工・開発について学ぶ	「信州の食品から学ぶ食品加工学」、「フードマネジメント論」、「フードコーディネーター論」
3次産業	商品の開発、流通について学ぶ	「マーケティング基礎」、「マーケティング戦略」、「起業論」、「フードマネジメント」
地域・食生活	様々な地域の特色を学び、6次産業化における着眼点を育成する	「コミュニティビジネス」、「地域振興論Ⅰ」、「地域振興論Ⅱ」

# SDGsに繋がる新たな教育プログラム

全学教務委員長・観光ホスピタリティ学科 教授 畑井 治文

持続可能な開発目標(SDGs)、2015年の国連サミットで採択されたこの目標では、2030年を達成年限とした17のゴールが示されています。ゴールの実現に向けて、大学をはじめとした高等教育機関には大きな役割が期待されているはずですが、本学では、それぞれの学部において特色のあるカリキュラムを展開していますが、その根底には地域社会の課題と向き合い、持続可能な地域社会の実現に貢献することが強く意識されて

います。言い換えると、各学部での学びは、直接的・間接的に持続可能な開発目標(SDGs)へと繋がっていくことになります。もちろん各学部のカリキュラムと17のゴールとの繋がりの強さには濃淡があり、例えば、総合経営学部では「8.働きがいも経済成長も」、人間健康学部では「3.すべての人に健康と福祉を」、教育学部では「4.質の高い教育をみんなに」などの側面において強みを発揮するでしょう。そのような中、今回、本学

では新たに「学部・学科横断型教育(学修プログラム)」がスタートしました。同プログラムでは、それぞれの学部の強みを横断的に捉える形で教育内容を検討・展開することが可能となります。同プログラムの仕組みを活用すれば、学生にとって、より多面的なアプローチで持続可能な開発目標(SDGs)に繋がる学びの場を提供することができるかもしれません。同プログラムの今後の展開に期待をしていただきたいと思います。

## 2022年度開講科目「SDGsとジェンダー」の紹介

大学院健康科学研究科・スポーツ健康学科 准教授 新井 喜代加

本講義では、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」のなかでも目標5「ジェンダー平等の実現」とその達成に強く関わりのある7つの目標に焦点を絞り、国や地方自治体、企業(組織)、NGO、市民等、多様なアクターの取り組みや活動の成功例等を検討し、学生がSDGsとジェンダーについて理解を深め、当事者意識をもってSDGsの達成に資する提案ができることを目指します。



## 松本大学エコナビの活動 環境問題解決への取り組み

松本大学エコナビ(2007年発足)は、学内の古紙分別回収、エコキャップ再利用、古本回収を通じて環境問題の解決に取り組んでいます。現在は23名の学部・短大生が登録し、ほぼ毎週1回活動しています。また、東日本大震災復興古本市など市民にも協力を呼びかける活動も行っています。



# 防災関連科目の他学部・他学科聴講が可能に

地域防災科学研究所 所長・観光ホスピタリティ学科 教授 木村 晴壽

総合経営学部では、2019年度から地域防災体制の構築に貢献できる人材養成を念頭に、防災関連科目を正課教育として導入しました。同学部の観光ホスピタリティ学科では、地域防災コースを設定して地域防災の系統的な学びの内容を整え、2022年度から同学科に配置される防災関連科目は全部で9科目となります。そのうちの4科目は、日本防災士機構による防災士資格認定試験に直結する内容となっており、本学がこれら4科目の履修証明を発行することで、認定試験の受験資格を取得することができます。

日本のいたる所で様々な自然災害が多発する近年の状況と、それに起因する防災

意識の高まりは、防災や災害対策に関する正しい知識・技能を身につけたいという人々の急増となって現れています。それは、若者たちも例外ではなく、しかも高等教育レベルの内容を持った防災教育となれば、学生にも等しく学びの機会を提供するのは、本学の責務でもあります。

このような考え方をもとに、総合経営学部観光ホスピタリティ学科に設けられている防災関連科目のうち、防災士養成に関わる4科目については、2022年度から他学部・他学科の学生も履修できる仕組みに移行します。具体的には、他学部聴講・他学科聴講の制度を活用し、観光ホスピタリティ学科以外の学生もこれら4科目について履



修できることとなりますので、時間割上可能な範囲で履修計画を立て、防災士資格取得に臨んでください。

防災と災害対策の常識人たる“防災士”が、数多く本学から誕生することを期待しています。

# 魅力ある地域づくり、人づくりをめざして新たに連携協定締結

本学は、地域貢献を理念として、地元自治体や公的機関、教育機関、民間企業等との連携協定を結び、特色を生かした様々な取り組みを行っています。

## 松本商工会議所と推進協定を締結

### 連携・協力体制を強化し、地域社会の発展に寄与

副学長・総合経営学部長 教授 増尾 均

去る11月15日、ホテルブエナビスタにおいて、「松本商工会議所と松本大学・松本大学松商短期大学部における産学連携に関する推進協定」を締結しました。松本商工会議所と松本大学は本学の創立以来、長きにわたり様々なことで相互協力関係を築いてきました。もともと松本商工会議所との協定は、平成30(2018)年9月10日、インターンシップ(就業体験)を中心に締結していました。しかし、近年、地域課題は多岐にわたり、これを構成する主要な企業の課題も多様で複雑化の一途をたどっています。本学は、創立以来、専門的かつ実践的教育

を掲げた人材育成をしておりますが、近時の流れを踏まえ、これに対応するためには、松本商工会議所とのさらなる連携・協力体制の強化が必要不可欠であると考えました。このような背景を基に、それぞれが有する資源を活用し、積極的に産学の連携を深め、松本市域の企業の発展と若者の地元定着を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的として今回の締結となりました。これにより、本学の教育がさらに活性化することになると期待しています。



#### 推進協定の内容

- ・地域振興および産業振興
- ・地元企業に対する学生の理解を深める活動
- ・学生のインターンシップ等、人材育成
- ・教育・研究成果の提供
- ・相互の発展を推進する事業 他

## XYZ(クロスワイゼット)株式会社と連携協定を締結

### 食とスポーツ、文化を融合させた新しいエンターテインメントの創出を目指して

健康栄養学科 専任講師 長谷川 尋之

去る12月7日に、長野県内初の3人制プロバスケットボールチームである「信州松本ダイナブラックス」を運営するXYZ株式会社と食とスポーツを通じた街づくりおよび子供たちの健全な育成を目指した連携協定を締結しました。本チームには、2009年度に松商学園高等学校を卒業し、Bリーグのプロバスケットボール選手としても活躍した武井弘明選手が所属しています。

3人制バスケットボールは、東京オリンピックで初の正式種目として採用され、若者を中心に注目を浴びているスポーツです。また、競技スポーツとしてだけでなく、少人数、小スペースでできるため、街中や観光地、公園など、誰でも気軽に実施できる特徴もあります。音楽やファッションといった文

化との親和性が高く、これまでのスポーツとは異なる価値の創出が期待されます。

今後は、本学とともに松本を拠点にバス

ケットボールを通じたスポーツイベントを共催し、食とスポーツ、文化を融合させた新しいエンターテインメントの創出を目指し、協同してまいります。

本学はこれまで地域プロスポーツと様々な連携事業に取り組んでいます。地域プロスポーツを核とした地域スポーツの振興・発展は、地域活性化を広げることと思います。今後の活動にご期待ください。



写真左：小松怜華さん(健康栄養学科4年)は、XYZ株式会社に内定

# 過去最多の17名が合格! 「国内旅行業務取扱管理者試験」の結果



観光ホスピタリティ学科 専任講師 田開 寛太郎

観光ホスピタリティ学科では、国家資格である旅行業務取扱管理者の試験対策を行っています。旅行会社の各営業所に最低1名はこの資格を持っている人が必要となるため、旅行業界での需要は高いといえます。

また、近年、観光による地域の活性化にかかわる役割、観光協会や農協観光などといった活躍の場が広がっています。試験勉強は、観光に関する様々な知識を得るだけでなく、企画・販売・添乗までの実践的なツアープランニングへの関心を深める機会にもなるので、

## ■合格者の声をご紹介します。

**藤本 優佳さん** (観光ホスピタリティ学科3年・長野県木曾青峰高等学校出身)

昨年は不合格となり今年は2回目の挑戦でしたが、今年こそは必ず合格するという想いで、平日は最低2時間、休日は5時間勉強すると決め、勉強に励んでいました。また、先生方の手厚いサポートもあり、合格することができたと思います。来年は総合旅行業務取扱管理者資格取得を目標に頑張ります。

「観光」や「地域」にかかわる仕事への就職をめざす学生におすすめの資格です。

9月5日に行われた「国内旅行業務取扱管理者試験」において、本学科の学生が17名合格しました。旅行業法、約款、実務などの分野における授業や補習を受けながら、試験に向けてコツコツ努力を重ね、多くの学生が合格できたことをうれしく思います。今後も合格へのサポートだけでなく、一人でも多くの学生が観光に興味を持ってもらえるよう全力で努めます。

**有賀 香乃さん** (観光ホスピタリティ学科2年・長野県上田染谷丘高等学校出身)

試験日が近づいてもあまりやる気がおきませんでした。しかし、授業や夏期集中講義での先生方の熱心な指導や試験対策、試験日当日の配慮等、最後まで応援が励みとなり、その気持ちに応えたいという一心で何とか合格まで漕ぎ着けました。これをゴールにせず、総合旅行業務取扱管理者の資格取得を目指し頑張ります。

**工藤 太陽さん** (観光ホスピタリティ学科2年・長野県伊那弥生ヶ丘高等学校出身)

私が合格に向けて取り組んだことは、授業の空き時間を有効に活用すること、楽しみながら勉強することでした。また、「まっぴる」など旅行情報誌を購入し、旅行気分を味わいながら勉強しました。将来、地域の観光を盛り上げる一員になれるよう、さらに学びを深めていきたいです。

**松原 花奈さん** (観光ホスピタリティ学科2年・長野県松本美須ヶ丘高等学校)

私が一番力を注いだのは国内旅行実務で、楽しく学ぶことができよう工夫しました。ノートにテキストの要点をまとめて、あとはひたすら過去問を解きました。観光地理は先生に勧められた単語帳を使いながら旅番組や写真を見て覚え、旅行業法と観光約款はとにかくテキストを暗記しました。今回の合格は、将来の可能性と自信を得ることができたと思っています。

## 「観光ホスピタリティ国際研究発表会2021」にて本学の学生が発表

国際交流センター運営委員長・観光ホスピタリティ学科 教授 益山 代利子

10月16日、国立フィリピン大学アジア観光研究所主催の国際研究発表会 (Youth for Tourism and Hospitality International Conference 2021) で、観光ホスピタリティ学科と松商短期大学の学生7名が英語での発表を行いました。総勢500名を超えるフィリピン国内の大学や専門学校の学生が、Zoom会議による発表に参加する中、本学からは文化交流ワークショップの一環として松商短期大学部1年の河野すずさんと檀原優衣さん、2年生の田中結萌さん、宮田泉美さん、三島菜緒さん、観光ホスピタリティ学科4年の中村留奈さんが発表しました。文化交流ワークショップで紹介したのは、「ジェンダーアイデンティティ」"Gender Identity Awareness", 「標識の課題」"Signage Problem Awareness", 「食事の制限」"Dietary Restriction", 「公共交通」"Responsible Tourist Transport"などの観光に関する課題です。

事前にフィリピン大学関係者とオンラインでの協議を

重ねて、質疑応答の準備もしてきました。当日の発表は緊張感にあふれながらも、フィリピンの学生さんらの温かい支援もあり、スムーズに発表することができました。海外渡航が出来ない中でも、このような国際研究発表会に本学の学生が参加できたことは、今後の国際交流に対する意識向上の啓発につながったのではないかと思います。





# 着実に成果を上げる本学の教員養成

## 教育学部

### 二期生が挑んだ今年の教員採用試験 努力が実を結び、延べ26名(合格率52.4%)が合格

教育学部長・教授 岸田 幸弘

2021年度(2022年度採用)公立学校教員採用試験の結果が発表されました。教育学部は開設5年目の若い学科ですが、日々の授業やゼミに加え、初年次からの学校ボランティア活動、学校インターンシップ、教育実習等の学校現場体験を積み重ね、二期生たちの努力が実を結びました。コロナ禍で教員採用試験対策講座も十分にはできませんでしたが、教育学部二期生が挑んだ今年の結果は右記のとおりです。また、昨年度に教員採用試験に初めて挑戦した一期生は、長野県などに12名(延べ18名)の合格者でした。今年度の再挑戦で、小学校及び特別支援学校に6名が合格し、他3名が補欠合格となっています。

## 総合経営学部・人間健康学部

### 本学初となる中学校社会科で現役合格!!

全学教職センター長・教授 山崎 保寿

2022年度公立学校教員採用試験の総合経営学部・人間健康学部関係の合格者は、総合経営学部2名(北海道・山梨県)、人間健康学部3名(長野県・新潟県・山梨県)でした。このうち、総合経営学部の2名(北海道・山梨県)は、本学では初めての中学校社会科の合格者になります。この他に、人間健康学部では1名が補欠合格となっています。また、卒業生では人間健康学部で12名が合格しています。

総経・人間教職センターでは、現役生はもちろん、卒業後の臨時採用講師等を経て2年以内の採用を目指し、教員採用試験合格への支援を行っています。

## 速報 2021年度(2022年度採用) 教員採用試験合格状況

### 【教育学部】

#### 現役生

自治体	校種	教科等	合格者数
長野県	小学校		11
	中学校	英語	1
新潟県	小学校		8
石川県	小学校		2
北海道	小学校		2
岐阜県	小学校		2

他、補欠合格 3名

### 【総合経営学部】

#### 現役生

自治体	校種	教科等	合格者数
北海道	中学校	社会	1
山梨県	中学校	社会	1

### 【人間健康学部】

#### 現役生

自治体	校種	教科等	合格者数
長野県	小学校		1
新潟県	小学校		1
山梨県	小学校		1

他、補欠合格 1名

#### 卒業生

自治体	校種	教科等	合格者数
長野県	小学校		4
	中学校	保健体育	1
	高等学校	保健体育	1
	義務	養護教諭	1
	特別支援学校		3
新潟県		養護教諭	1
山梨県	特別支援学校		1

## 先輩から後輩へ 本学卒業生の先輩教諭から学ぶ会

総経・人間教職センター 専門員 佐藤 厚彦

10月21日、松本大学を卒業して正規の教諭、養護教諭、栄養教諭に就いている先輩教諭から学ぶ授業を実施しました。この授業は次年度に教育実習を控えた3年生の「教育実習事前指導」の一環であり、「社会、公民、商業、情報」「中学校保健体育」「高等学校保健体育」「養護教諭」「栄養教諭」「中学校英語」のグループに分かれて行いました。5名の先輩教諭が来学し、3年生からの質問に答えていただく形式で、実際の学校現場の様子や教育実習への臨み方、心構えなどについて

学ばせていただきました。

受講した3年生からは、「話を聞いて教育実習のことが具体的にイメージでき、不安が強かったが少し気持ちが軽くなった」「教員になるという気持ちがこれまで十分に固まっていなかったが、今日話を聞いて自分の気持ちを固めることができた」「現場でのリアルなことを知ることができ、早く先生になりたいという思いが高まると同時に、もう少し勉強をしなければならなかった」となどの感想が寄せられました。



実際に教職に就き学校現場で活躍している松本大学出身の先輩がいること、さらにその先輩から直接話を聞いたことで、漠然とイメージしていた教師という職業の実際を知り、身近なものとして感じることができたのではないかと思います。そして、教員への道を自己のキャリア選択として現実的に受け止め、その意欲を高める学びの機会となりました。

## 島内地区公民館での「おらんちdeランチ」に参加

観光ホスピタリティ学科 教授 松田 武雄

松本市島内地区公民館で、「おらんちdeランチ」という地域活動が行われています。住民有志が集まった「愛ランド島内」という会が自主的に企画・実施している活動です。コロナ禍の中で休会となっていたが、11月から再開したのを機に私のゼミで参加しています。子どもの学習支援、食事の提供、体験活動、相談活動を柱に三世代交流も併せて行われています。11月13日に久々に開

かれ、ゼミの学生4名と私も参加しました。この日のメニューは、防災クイズ、学習支援、遊び、というもので、学生たちがリードしたり一緒に遊んだり、楽しく過ごしました。特に防災クイズが好評で、子どもたちはクイズを通して、防災について多少知ることができたのではないのでしょうか。参加者は、子ども(幼稚園から小学校中学年くらいまで)が30名ほど、親が7、



8名ほど、スタッフが私たちを除いて10名ほどで、親も参加していたのが予想外でした。12月は、「正月の伝統行事と遊び」で、凧などをつくり小学校の校庭で凧あげをし、お餅を食べるという企画です。100名ほどの子どもたちが集まるそうで次回も楽しみです。

## 実習の学びを生かし考案したレシピがコンテストで受賞

健康栄養学科 准教授 平田 治美

国家資格である管理栄養士資格取得を目指す健康栄養学科では、「公衆栄養学臨地実習」があります。保健所や保健センターでは、都道府県および市町村の行政栄養士が、地域住民の栄養・食生活に関わり健康づくりに活躍しています。履修学生はここで、インターンシップ実習として45時間の実習機会をいただき、学修しています。

実習先の1つである松本市では、食育推進計画「すこやか食プランまつもと」に基づき、市民に「1日2食は3皿運動」を推進しています。取り組みのひとつとして、簡単に食事バランスを整えるためのコツとして、具だくさんみそ汁の普及・啓発にも力を入れています。具だくさんみそ汁とは、肉、魚、卵など「主菜」になる食材と、野菜、海藻、きのこ類など「副菜」になる食材を3種類以上、1人分70g以上の具材を使います。信州特産であるみそを使い、おいしく、バランスよく、しか

### 第3回具だくさんみそ汁コンテスト受賞作品

もったいないを減らそう部門【最優秀賞】



「3STEP!!レンジで楽しむ具だくさんみそ汁」  
(健康栄養学科4年 佐原 柚香さん)

松本を味わおう部門【優秀賞】



「松本野菜でほっこりあったかみそ汁」  
(健康栄養学科4年 山本 里菜さん)

も減塩にもなり、良いことだらけの1品です。実習で具だくさんみそ汁について学んだ学生が、松本市で開催している第3回具だくさんみそ汁コンテストに応募したところ、「もったいないを減らそう部門」、「松本

を味わおう部門」で受賞しました。

※レシピは松本市HPに掲載されています。  
こちらから➡



## 高校生の熱い想いを支援した「デパートゆにっと」

11月6・7日に井上デパート本店において高校生合同販売会「デパートゆにっと」が開催されました。このイベントは県内高校生が



地域に関わる商品を地元企業とともに開発し販売する活動です。本学もこのイベントのために「マーケティング塾」という学習会を通して、高校生と大学生がともに学び合う場を提供しています。今回はコロナ禍の影響で、恒例となった夏の販売が中止となり時期をずらしたため、参加校が6校と規模を縮小した販売会になりました。本学の学生は販売活動が制限されている中で、白戸ゼミの広報誌「あやめ」を利用したチラシを作成し商店

地域づくり考房「ゆめ」専門員 大野 整

街に配布することで、活動を支援しました。参加した高校生は9年間続いているこの活動をずっと続けたいという熱い想いを持ちながら、地域で開発したお菓子やパンなどをお客様に熱心に説明して販売を行いました。今年と同じフロアに松本の老舗銘菓も出店していましたが、会場は若者の開発した菓子と老舗の菓子が共に販売されることで和やかな雰囲気となり、高校生にとっては貴重な学習の場となりました。

## パラスポーツ体験から ノーマライゼーション社会の実現について学ぶ

学校教育学科 教授 小林 敏枝

「スポーツとノーマライゼーション」の授業で車いすバスケットボールの体験をしました。本講座は、パラスポーツについて理解を深め、様々な視点でノーマライゼーション社会の実現について学ぶ授業です。今回は、長野県障がい者スポーツ地域コーディネーターとしてパラスポーツの推進に関わっていらっしゃる方を講師にお迎えして、

行いました。講師の先生はパラリンピアンでもあり、体験をもとに学生に多くのメッセージを伝えてくださいました。

今年は8月に東京パラリンピックがあり、学生はテレビなどで視聴し関心も高くなっています。このタイミングでパラスポーツ体験ができたことは有意義だったと思います。



「障がいは人に帰属するのではなく人と環境の間に存在する」この意味を深く理解し、ノーマライゼーション社会の担い手になってほしいと願っています。



## 伊那食品工業株式会社と共同研究 高齢社会に貢献する フレイル予防の臨床試験を開始

大学院健康科学研究科・健康栄養学科 教授 弘田 量二

健康栄養学科(藤岡ゼミと弘田ゼミ)と伊那食品工業株式会社は、寒天から作ったアガロオリゴ糖摂取で、65歳以上高齢者のプレフレイルからフレイルへの進行を予防する臨床試験を、この10月から開始しました。フレイルは「虚弱」のことで、歩行速度(毎秒1メートル未満)、筋力低下、体重減

少、疲労感、身体活動(運動等をしていない)という5つの判定基準のうち3つ以上、プレフレイルとはその前段階で基準の1~2つが該当することです。最新の研究では高齢者のフレイル割合は8.7%、プレフレイルは40.8%で、死亡率は健康高齢者よりも各々1.7倍、2.3倍高いと報告されていま

す。このように生活の質を大きく損なう状態ですが、早期に介入すれば健康な状態に戻る可能性があります。特に、プレフレイルと判定された高齢者の7人にひとりが高齢に戻ったという報告もあります。高齢者には、ひざ関節痛やその他の理由などで運動介入できない方も多いはずで、アガロオリゴ糖は、筋肉分解を促進するミオスタチンの過剰発現を緩やかにすることが試験管内

試験(前臨床試験)で証明されています。そして、アガロオリゴ糖を商品にした食品の有害情報がないことから安全性も証明されており(第一相試験)。

従って、私達は、有訴者割合の多いプレフレイル高齢者を対象に、フレイルに進行させないアガロオリゴ糖の摂取試験を計画しました。研究倫理委員会の許可や参加者の同意を取得した少人数での第二相試験です。アガロオリゴ糖群とコントロール群に分けて12週間毎日6粒摂取していただいております。10メートル歩行試験、下肢筋力・筋肉量測定、活動量・食物摂取頻度調査などを4週間ごとに行い効果の差を比較したいと考えており、すでに最初の4週間が経過しました。残りの8週間でアガロオリゴ糖の効果が現れるか?非常に期待されます。プレフレイルの予防を通じて幸せな高齢社会に貢献したいと考えています。



測定会の様子

# 地域連携活動

## 知覧特攻平和会館を訪問 過去の歴史と真剣に向きあう

これまで平和に関する勉強を積み重ねてきており、その学びの一環として10月15日～17日に知覧特攻平和会館（鹿児島県）での研修を行いました。コロナ禍で再三延期が強いられ満を持しての訪問となりました。これまでの学びの中



角兵舎の前に立つ伊藤君

三角兵舎とは、特攻隊員が出撃するまでの間に起居していた半地下式兵舎で、現在は知覧特攻平和会館横の杉林に復元されたものを見ることができます。

で、安曇野市堀金出身の浅川又之（特攻隊員）氏の遺稿集を用い従兄の方々から直接解説していただく機会を持ちましたが、その原本の資料を現地で発見することができました。知っている方を通して特攻の現実をより実際に感じることもでき、多くの時間をそこに要する研修となりました。

当時特攻の母として献身的に特攻隊員のお世話をされていた鳥濱トメさんが営んだ富屋食堂が今では旅館として知覧町内に存在します。今回、その旅館に宿泊することができ、当時の食事を体験したり、研修旅館になっていることから今を生きる意味を感じるよい機会になりました。

（観光ホスピタリティ学科 尻無浜 博幸）

### ■研修に参加した学生の声

#### 多くの方に特攻平和会館を訪れてもらいたい

観光ホスピタリティ学科3年 伊藤 義起

平和に関する勉強会では、社会科（歴史）の教科書の内容だけでなく、戦時に生きていた方一人ひとりの生活や思いに目を向けて学んでいくことで、過去の歴史に真剣に向き合う必要性に気づけました。

今回の研修は、特攻隊員として散華された方にまつわる記録を見て、至純の愛国心と家族愛、何のために生きているかという自分の死生観がしっかりしていることが伝わってきました。先の大戦で起きたことを、他人事として片づけてしまっただけではいけないと強く感じ、多くの方に特攻平和会館を訪れてもらいたいと思いました。

#### 戦争について広い視点から学んでいきたい

総合経営学科2年 神戸 美乃里

今回の研修を通し、太平洋戦争に対する意識や歴史を学ぶ姿勢が大きく変わりました。戦争を学ぶ時、「背景やその戦争がどのような結果をもたらしたのか」。これを一緒に学ぶことで初めて、その戦争で亡くなった人たちが何を伝えたいのかを考察することができました。最近では、高齢化の影響により戦争の経験を受け継ぐことが困難になっています。戦争をしてはいけないという意思を残していくためにも、まずは戦争について広い視点から学ぶことが必要だと思いました。

### TOPICS

#### 「あなたと平和を語る会」を開催

11月22日、AR（拡張現実コンピュータープログラム）を使った平和アートイベントアプリを用いて、学友会が平和をテーマに語り合う会を企画しました。参加者を募ったところ、15名ほどの学

生が集まり、グループごとに分かれて意見交換をしました。菅谷昭学長、尻無浜博幸教授もグループに加わり、みんなで平和について考える貴重な機会となりました。



## 地域公開講座を開催 ～平和のために私たちは何ができるか～

10月22日、本学において、弁護士で前札幌市長の上田文雄氏を講師にお招きし、地域公開講座「平和のために私たちは何ができるか」を開催しました。上田氏は、札幌市と松本市が観光と文化を基調に市が発展してきたという共通点から、菅谷昭学長（前松本市長）と交流を重ねてこれ、本講座は、菅谷学長が力を入れる若者への平和教育の一環で企画・実現したものです。当日は、健康栄養学科や観光ホスピタリティ学科の学生ら約100名と一般の方が、対面およびオンラインで聴講しました。



松本市がなぜ熱心に平和に取り組ん

できたのかについて話を展開。松本には、戦闘機の機体を特別攻撃用に装備するまでの約一カ月間、特攻隊が松本に滞在していた歴史があり、疎開に来ていた東京からの子供たちとの交流がありました。子供たちは、特攻隊を鼓舞する手紙を書きましたが（鉛筆部隊と呼ばれた）、特攻隊の青年は戦争で皆命を失ってしまいました。このような特攻隊と密接なつながりのある街-松本だから、平和にこだわるのではないかと、との考察を述べました。

その他にも戦争放棄などを宣言する憲法第9条の存在や日本の自衛隊の存在意義について触れた後、昨今の憲法改正論にも話が及びました。今回の講演会では、現在の日本における平和な社会を理解するうえで重要なお話をうかがうことができました。学生からは、平和について深く考える良いきっかけになった等のコメントがありました。将来の社会の担い手である学生たちに様々な刺激を与えられる講座を今後も推し進めて行きたいと考えています。

（地域力創造委員長／大学院健康科学研究科・健康栄養学科長 教授 高木 勝広）

## 地域づくり考房『ゆめ』

### 地域の人々と共に学んだ「いのちと平和を考える」学習会

地域づくり考房『ゆめ』では「いのちと平和を考える」学習会を12月4日に開催しました。この活動はONE TEAMプロジェクトの一環として地域の方々と学生が年代を越えて平和について語り合うことで、学生が知識の上で知った戦争をより身近な問題として捉え平和を見



つめ直すことを目的に行われました。

当日は戦争時代を生きた地域の方々と学生が約30名ほど参加しました。午前、紙芝居を通じて平和を伝える活動を行っている手塚英男氏を招き、開智国民学校時代の子どもの様子を紙芝居を通して見ることで、戦時中の子どもの気持ちを知る手掛かりとしました。また午後は戦時中の生活について地域の方々と語り合うことで、厳しい暮らしの様子を知り、銃後の守りの実態を知ることができました。

また、小説「やまなみの詩」を執筆された中野和朗元学長からは、小説を通して学生が平和についてどのように考えていくべきかを講演していただきました。その後、「知覧特攻平和会館」を訪れた学生から特攻兵士の気持ちや残された人々の実情、戦争とのかかわりについて詳細な発表があり、菅谷昭学長からも平和活動の取り組みについて貴重な示唆をいただきました。参加した学生からは、「戦争の実態を正しく次世代に伝えていくためにどのような姿勢で臨んでいくかを深く考える機会となった」等、多くの感想が寄せられました。

(地域づくり考房『ゆめ』専門員 大野 整)

## 地域健康支援ステーション

### 運動と栄養の両面から地域の健康づくりを支援 ~塩尻市ふれあいセンターにて介護予防講座を実施~

塩尻市ふれあいセンター広丘から介護予防講座の依頼があり、地域健康支援ステーションの健康運動指導士と管理栄養士が講師となり運動と栄養について、それぞれ講座を行いました。当日の様子についてご紹介します。

#### 運動面 フレイルをテーマに運動指導

10月30日、塩尻市ふれあいセンター広丘にて介護予防講座の第1回目として「フレイル」をテーマに運動の講座を行いました。前半はフレイルの原因や判断基準などについて、図などを用いながら講座形式で説明を行いました。また、道具や機器などを使わず簡単にできる指輪っかテストを用い、参加者自身がフレイルやサルコペニアに当てはまるのか実際にチェックしていただきました。

後半は、フレイル対策の運動を実技形式で、電子レンジの待ち時間など日常生活のちょっとした時間でも行える運動を中心に一緒に身体を動かしました。強度の高くない運動でも、回数を増やしていくうちに少しづつ声がかえり、筋力の低下を実感している参加者も多くみられました。参加者からは、「楽しく運動できた」「普段のラジオ体操とあわせてやりたい」などといった感想をいただくことができました。

(健康運動指導士 岩崎 紗佑美)



#### 栄養面 低栄養・筋力低下を防ぐための栄養講座を実施

10月の運動講座に引き続き、第2回目として11月27日に栄養講座を行いました。サルコペニアやフレイルを引き起こす低栄養・筋力低下を防ぐためにも「しっかり食べる」をテーマに、参加者の方々と会話を楽しみながら話しを進めていきました。

講座も半ばに差し掛かり、普段の食生活の振り返りをしました。1日の食事は食事バランスガイドより示し、過不足を把握しました。すると「乳製品が少ないので気をつけたい」「欠食や自分の食生活を

改めて見直すいい機会になった」など様々な声が聞こえました。また、しっかり食べるためには口腔環境も大切です。食べ物を飲み込む上で重要な、唇と舌の準備運動となるパタカラ体操を最後にご紹介し、家事の隙間時間で取り入れていただくようお勧めしました。

今後も、運動と栄養(食事)の両面より地域の方の健康維持のお役に立てれば幸いです。

(管理栄養士 長沼 穂子)

# 「松大生と学ぶ親子プログラミング教室」 2021年度も大盛況のうちに終了

総合経営学科 教授 室谷 心  
経営情報学科長 教授 矢野口 聡

2017年以来毎年行ってきた「松大生と学ぶ親子プログラミング教室」を今年も開催いたしました。この事業は安曇野市からの受託事業として開催しているもので、今年で5回目とな



ります。昨年同様に今回もコロナ対策で、マスク着用で密を避けた形での教室となりました。

今年は、10月30日、31日、11月7日、14日の4日間、安曇野市役所4階大会議室を2つに仕切った会場で、総計103組の親子が(子ども105人、大人89人)教室に参加してくださいました。2017年に始めたころには、プログラミングが小学校に取り入れられるという話題が先行して、NHKの「Why!プログラミング」などが注目を集めていましたが、新学習指導要領は今年度スタートし、参加者のなかにはすでに学校で習っている子や、この講座の

リピーター(3回目!どうもありがとうございました)のような経験者もいれば、まったく初めての低学年の参加者もいました。

今年の先生役も短期大学部矢野口研究室の学生たちと、総合経営学部で情報の教員を目指す学生たちでした。ちいさな手で大きな合わないマウスの操作に戸惑いながら、一生懸命ブロックを組み合わせてプログラミングする子供たちを相手に、大人にとっては難しい印象の強い「プログラミング」が、楽しい体験として小学生の心に残ることを目指して、松大生・松商短大生が精一杯楽しく教えていました。

今年は、スタッフのセッティングが悪く、ネットワークトラブルでご迷惑をおかけしてしまったクラスもありました。せっかく参加していただいた皆様の時間を無駄にしまったことを担当者としてお詫び申し上げます。ぜひ次の機会もいただき、学生と子供たちで“楽しいプログラミング”体験ができれば嬉しく思います。

## 健全で快適なキャンパス・職場環境づくりをめざして

### 障がいをもつ学生に対する全学的な支援体制を整備

副学長 等々力 賢治

今秋、本学では、様々な障がいをもつ学生(以下「障がい学生」)に対し、学部・学科や事務部署を超えて情報を共有しできる限りの支援を提供する、全学的な体制を整備しました。

これまで、車椅子を利用する学生や弱視の学生、あるいは聾啞学生を受け入れ、それぞれ支援を行ってきていますが、対応は所属する学部・学科単位になりがちでしたし、障がい学生が、自分でそれぞれの部署に連絡しなければならないような事例も散見されました。今次の体制整備は、そうした問題点や負担を解消し、障がい学生個々人の状態や特性に応じ

た可能で合理的な配慮について検討し提供することを目的とするものです。それによって、就学に必要な適切な支援に全学横断的に取り組み、その自立と社会参加に向け積極的に支援することを目指します。

そうした目的を実現すべく、学生の大学生活を支援する学生課に「障がい学生支援相談窓口」を、そして、入試・広報、学生、教務、キャリアセンター・健康安全センターの5部署に関わる教員・事務双方の責任者から成る「松本大学障がい学生支援会議」を、それぞれ新たに設けることとしました。障がい学生は、要望する

支援内容等を記載した「合理的配慮願」を窓口に提出・申請し、その内容を支援会議で共有し、具体的な支援内容を検討・調整して実施に移すこととなります。支援の範囲は、学修(授業)活動、課外活動、大学行事への参加など、本学における学生生活に関する全ての事項です。



以上のような新たな体制によって、障がい学生の「教育を受ける権利」の享受・行使を保障すべく努めることはもとより、さらには、障害の有無にかかわらず、意欲と能力のある全ての学生にとって学びやすい環境であるよう、全学を挙げて取り組んでいくものです。

### 今年度の本学におけるハラスメント防止に関する取り組み

人権委員会 委員長・大学院健康科学研究科・スポーツ健康学科 准教授 新井 喜代加

本学ではハラスメント防止に関わる様々な取り組みを進めています。今年度は、まず、人権にかかわる規程の整備に着手しました。具体的には、「松本大学人権委員会規程」、「松本大学ハラスメントの防止に関する規程」及び「松本大学・松本大学松商短期大学部アカデミック・ハラスメント及びパワー・ハラスメント防止等に関するガイドライン」を体系的に見直し、三者の内容の重複や不整合を修正し、運用の実態と齟齬がないようにしました。また、この関係規程等の修正に伴い、①本学公

式サイト内「ハラスメントのないキャンパスのために」の内容を修正し、②「2021年度学生便覧」の「キャンパスハラスメント」の内容を見直し、それについて本学公式サイトにてアナウンスし、③本学ハラスメント相談員の氏名を本学公式サイトで学生に公開しました。さらに、6月30日に本学のハラスメント防止外部アドバイザーを務める高野尾三穂弁護士を講師に迎え、「判例にみるハラスメント」と題して研修会を開催しました。加えて、2021年11月12日から25日までの「女性に対する

暴力をなくす運動」週間には、人権意識の啓発活動の一環として学内にポスターを掲示したり、啓発カードやシール、相談窓口を紹介する啓発リーフレットを学生課カウンターに置きました(「女性に対する暴力をなくす運動」の詳細については男女共同参画局HPを参照されたい)。



今後も人権意識を高めるための活動やハラスメント防止のための活動を地道に積み重ね、健全で快適なキャンパス・職場環境づくりに努めてまいります。

## コロナ禍の学生にエール

長らくコロナ禍で苦しむ学生たちに「支援食料品パック」と「ごはん」を無償提供いただきました。

### 生活に困窮する学生へ食料支援

長野県より、生活に困っている学生や一人暮らしの学生を支援するため、2週間分ほどのお米やレトルト食品、缶詰などを段ボール1箱に詰めた「支援食料品パック」が、大学を通じて学生へ無料配布されました。本学では10月12日、13日の2日間、希望学生159人に手渡しました。支援品を受け取った学生からは「こんなにたくさんの食料品が入っているとは思わなかった」という声が寄せられました。関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



### 長野県産米で応援

#### ～松本市大学生応援1万食プロジェクト～

信州食品事業者連携協議会から、学生たちの励みになれば、というお申し出と、松本大学生生活協同組合、松本大学食堂(シダックス)にも協力いただき、11月29日から5日間、単品の白飯が全サイズ無料のほか、カレーライスや丼物も100円引きでご提供いただきました。初日から多くの学生が食堂を利用し、いつも以上に賑わいをみせていました。



## 本学に移動期日前投票所が初開設

10月31日投票開票の衆議院議員選挙と県議会議員補欠選挙(松本市・東筑摩郡区)で、松本市選挙管理委員会により、学生を含む有権者の投票率向上と地域住民の方々の利便性向上につなげるため、10月26日、学内のキャンパスに期日前投票所が設置されました。市内周遊バス「タウンズニーカー」に投票箱や記載台を載せ、本学のほかにも移動が不便な中山間地など計9ヶ所を巡回しました。学生たちも授業の空き時間や昼休みにバス車両にきて一票を投じました。



市民タイムス提供

## 新型コロナワクチンの大学拠点接種の終了

松本大学における新型コロナワクチン大学拠点接種は、11月15日をもって終了しました。8月から約4か月にわたる接種期間では、学内関係者をはじめ希望者に対して、延べ4,540回の接種を行いました。今後も、感染予防対策の徹底を図りつつ、本学における対応に全学をあげて取り組んでまいります。

## 2021年後期 新任者あいさつ

### ◆専任教員



#### 特別支援の社会理解を目指して

学校教育学科 教授 石黒 栄亀

【専門分野】 特別支援教育／障害生理・病理／神経生理  
【略歴】 産業医科大学大学院医学研究科博士課程  
九州女子大学人間科学部講師、准教授を経て教授

本年10月1日付けで着任いたしました。前職には17年間勤務し、そのうち11年間を特別支援学校教員養成に携わってきました。私自身障害がありますが、共生社会の実現を目指した教育者の育成に取り組んでいく所存です。よろしくお願いたします。



#### 「なりたい自分に」を支えたい

松商短期大学部商学科 専任講師 上田 敬

【専門分野】 会計学／非営利組織会計論  
【略歴】 青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科修了  
三井住友海上火災保険株式会社主任／川崎医療福祉大学助教

信州での生活は初めてですが、地域の人々の温かさ、学生さん達の素直さに、日々感銘を受けています。最高の環境の中で教育に携わらせていただけることに感謝し、若き人財が社会へ羽ばたく際の一助になれるよう、微力ながら尽力いたす所存です。

### ◆専任職員

#### 若い力を育成して長野に活力を



キャリアセンター 主事  
伊坂 駿

高校まで松本、大学進学を機に上京し5年半通信系キャリアで働いておりました。元々若年層の都会流出に課題感を感じており、県内の若手育成に貢献したく戻って参りました!よろしくお願いたします。

#### 信州の豊かな自然に魅了され



教務課 主事  
中西 浩一

所謂1ターンという形で入職いたしました。兵庫、北海道、東京と全国各地を回ってきましたが、抜群の暮らしやすさを実感しております。地域貢献を胸に邁進いたしますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願申し上げます。

#### 今しかない学生生活の支援を



学生課 主事  
松沢 美沙季

大学卒業後、初期配属で地元長野県に戻ってきてから10月まで旅行代理店にて勤務しておりました。前職の頃より「長野の若者が様々な経験をするための後押しをしたい」という気持ちがあり、次は社会に踏み出す前の基盤を形成する大学にて、学生の支援をしたいと松本にまいりました。どうぞ宜しくお願い致します。

## 硬式野球部

### 主将が意地のベストナイン獲得 関甲新学生野球連盟秋季リーグ戦結果

今秋のリーグ戦は、レギュラーに限らず数多くの選手を起用しました。春の戦績からの反省を踏まえ臨んだシーズンでしたが、全体的に個々のレベルアップが必要だと痛感したシーズンでした。その中でも主将の今井凜平(観光ホスピタリティ学科4年)がベストナインを獲得するなど、主将としての意地を見せてくれました。これから冬の時期を迎えますが、春のリーグ戦へ向けて個々とチームとしての具体的な成果目標、行動目標を立て取り組んでいきます。応援ありがとうございました。

(硬式野球部 監督 清野 友二)

#### 関甲新学生野球連盟 秋季1部リーグ戦勝敗表

順位	大学名	上武	白鷲	平成国際	新潟医療	山梨学院	関東学園	松本	常磐	勝	負
1	上武	○	○1-0	○4-1	○3-0	○3-1	○2-0	○3-0	○2-1	7	0
2	白鷲	●0-1	○	○1-0	○2-1	○5-1	○5-0	○2-1	○4-0	6	1
5	平成国際	●1-4	●0-1	○	●0-6	●3-13	○3-1	●1-3	○10-6	2	5
3	新潟医療	●0-3	●1-2	○6-0	○	○4-0	●2-9	○12-1	○14-1	4	3
4	山梨学院	●1-3	●1-5	○13-3	●0-4	○	○5-0	○17-2	●2-5	3	4
5	関東学園	●0-2	●0-5	●1-3	○9-2	●0-5	○	●0-4	○4-2	2	5
5	松本	●0-3	●1-2	○3-1	●1-12	●2-17	○4-0	○	●6-13	2	5
5	常磐	●1-2	●0-4	●6-10	●1-14	○5-2	●2-4	○13-6	○	2	5



### 下野けんぞう選手が、 U-23ブラジル代表に選出

硬式野球部所属の外野手・下野けんぞう選手(観光ホスピタリティ学科1年)が11月26日よりコロンビア(バランキリーヤ市)で開催される、オリンピックユースパシフィック競技大会 野球U-23ブラジル代表に選出されました。日本でいうオリンピックアジア予選にあたる大会です。残念ながらブラジルは予選敗退の成績で終わりましたが、国際大会の経験を活かし、今後の活躍を期待します。

## 女子ソフトボール部

### 全員で掴んだインカレ1勝!

新型コロナウイルスの影響で延期となっていた文部科学大臣杯第56回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(以下インカレ)は11月9日から愛知県安城市で開催されました。大会第1日目雨が雨天順延となり、本学は10日に1回戦で名門立命館大学と対戦しました。本学は2回に2本の長打で1点を先制すると、続く3回にも3安打を集め1点を追加、投手も相手打線を3回以降無安打に抑え、2-0で2回戦へ駒を進めました。

2回戦は昨年度の全国選抜大会優勝校で本大会も優勝候補の中京大学でした。立ち上がりは互角でしたが、3回に守備の乱れから1点を献上、5回にも長打で追加点を許し、打線も相手投手を打ちあぐみ0-2で敗退しました。

しかし、4年生が4名(うち1名が主務)と過去最も少なく、経験不足からくるチーム力の不安定さでここまで苦しんでいましたが、日比野瑠々主将(スポーツ健康学科4年)を中心に全員でインカレ1勝を掴み取ったのは、若いチームの今後の大きな財産になりました。ここまで必死にチームを育ててきてくれた4年生に大きな拍手を送りたいと思います。

最後になりましたが、皆様には熱いご声援、多くのご支援を賜りました。改めて御礼申し上げます。(女子ソフトボール部 部長 岩間 英明)



## 軟式野球部

### 全国大会に出場 力闘するも初戦で敗れる

#### 第1回全日本大学軟式野球選抜大会 SUMMER CUP 2021 in Nagano

8月23日、県内で開催された「第1回全日本大学軟式野球選抜大会」に長野県大学軟式野球連盟代表として出場しました。この大会は、昨年度まで東日本選手権、西日本選手権として行われていた大会に代わり、本年、第1回大会として開催されました。初戦の対戦相手は沖縄国際大学で、試合が動いたのは2回表沖縄国際大の攻撃で2点を取られるも、本学は4回裏1死ランナー無しから1点を返しました。その後も何度かチャンスはあったものの得点することができず、7回表にダメ押し1点を追加され、先発のエース木下功基(松商短期大学部2年)の力強いピッチングも、チャンスで1本が出ず1対3で初戦敗退となりました。



#### インカレ 惜しくも初戦敗退

11月14日~19日、大阪府くらし寿スタジアムをメイン会場に、全国から23大学が出場し、第43回全日本大学軟式野球選手権大会が開催されました。本学は1回戦で、福山平成大学と対戦、1回に1点を先制され、4回で追いつきましたが、惜しくも1対3で敗退しました。コロナ禍でしたが、出場できた喜びと初戦負けの悔しさをバネに、今後の活躍に期待します。

(軟式野球部 部長 濱田 敦志)

## 男子サッカー部

### 今シーズンを振り返って

2021年度の第49回北信越大学サッカーリーグ1部が終了しました。新型コロナの影響を受け、昨年度は2部リーグへの降格がなかったため、本年度の1部リーグは10大学で実施されました(本来は8大学)。試合数が増加したこと、及び新型コロナの影響で延期となった試合等もあり、長いリーグ日程となりましたが、多くの方々に支えられてリーグを戦いきることができました。ご声援ありがとうございました。今後ともお力添えのほど、よろしくお願いいたします。

(サッカー部 部長兼監督 齊藤 茂)

### 第49回北信越大学サッカーリーグ 1部リーグ戦勝敗表

順位	大学名	新潟医療福祉	新潟経営	金沢星稜	松本	北陸	金沢	金沢学院	富山	新潟産業	福井工業	勝	分	負
1	新潟医療福祉		△3-3 ○4-2	△2-2 ○2-1	○3-0 ○5-0	△1-1 ○4-0	○9-0 ○3-0	△1-1 ○3-1	○2-0 ○6-0	○8-0 ○13-0	○5-0 ○11-0	14	4	0
2	新潟経営	△3-3 ●2-4		●1-3 ○0-1	○3-2 ○0-1	○1-0 ○3-0	○4-1 ○1-0	△2-2 ○3-2	○4-0 △0-0	○5-1 ○5-2	○6-2 ○10-0	12	3	3
3	金沢星稜	△2-2 ●1-2	○3-1 ●0-1		●2-3 ○1-0	△0-0 ●0-1	○6-3 ○2-1	○3-1 ○2-0	○2-0 ○4-0	○2-0 ○7-1	○6-0 ○6-3	12	2	4
4	松本	●0-3 ●0-5	●2-3 ○1-0	○3-2 ●0-1		△2-2 ○3-2	○2-0 △0-0	○0-2 ○1-0	○1-0 ○6-1	○1-0 ○10-1	○8-1 ○9-1	11	2	5
5	北陸	△1-1 ●0-4	●0-1 ●0-3	△0-0 ○1-0	△2-2 ●2-3		○4-0 ○3-0	○3-0 ○3-0	△1-1 △1-1	○3-1 ○5-1	○4-1 ○3-1	9	5	4
6	金沢	●0-9 ●0-3	●1-4 ●0-1	●3-6 △0-0	●0-2 △0-0	●0-4 ●0-3		○2-0 ○3-0	△1-1 ●1-3	○3-2 ○4-1	○3-2 ○1-0	6	2	10
7	金沢学院	△1-1 ●1-3	△2-2 ●2-3	●1-3 ●0-2	○2-0 ●0-1	●0-3 ●0-3	●0-2 ●0-3		○2-1 ●0-2	△2-2 ○3-0	○1-0 ○8-0	5	3	10
8	富山	●0-2 ●0-6	●0-4 ●0-4	●0-2 ○0-4	●0-1 △1-6	△1-1 △1-1	△1-1 ○1-2	●1-2 ○2-0		○1-0 ○1-2	●2-3 ●0-1	3	4	11
9	新潟産業	●0-8 ●0-13	●1-5 ●2-5	●0-2 ●1-7	●0-1 ●1-10	●1-3 ●1-5	●2-3 ●1-4	△2-2 ●0-3	●0-1 ○2-1		○2-1 △1-1	2	2	14
10	福井工業	●0-5 ●0-11	●2-6 ●0-10	●0-6 ●3-6	●1-8 ●1-9	●1-4 ●1-3	●2-3 ●0-1	●0-1 ●0-8	○3-2 ○1-0	●1-2 △1-1		2	1	15

## アンサンブルsolae

### 松本市芸術文化祭合唱部門に出演 地域の方々に歌声を披露

10月31日、松本市音楽文化ホールにて開催された第62回松本市芸術文化祭合唱部門に部員20名で出演しました。教職支援センター高山雪先生の指揮、教育学部2年生横山桐子さんのピアノ伴奏で「友～旅立ちの時～」[ヒカリ]の2曲を演奏しました。新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの演奏発表はこれまでと違うことも多く、戸惑うこともありましたが、地域の皆様の

前で発表する機会をいただけたことに感謝いたします。仲間と声を合わせて歌うことができる喜びを改めて感じることができ、お客様からも温かい拍手をいただき嬉しかったです。2月20日には松本市音楽文化ホールにて、第3回定期演奏会を開催する予定です。皆様に素晴らしい音楽をお届けできるよう頑張っ



て練習しています。ぜひご来場ください。  
(アンサンブルsolae 部長 大蔵 真由美)

## みんなで共有できた学生生活のひとコマ 2年振りとなる松商短大体育大会を開催

松商短期大学部では例年、学友会体育局役員が中心になって初夏と晩秋に体育大会を実施してゼミ対抗で競い合っていて楽しんでいますが、コロナ禍によって昨年は2回とも実施できずに終わりました。今年の夏も県内感染者数が低くならず7月の体育大会は断念し、代わりに開催されたのが体育局によるオンラインでの「ゼミ対抗写真大会」でした。それはそれで楽しかったのですが、秋こそ学生が一堂に会して運動を楽しみたいという思い...それが結実した今回の体育大会でした。会場は本学第一体育館約8個分の広いやまびこドームで、11月30日午後1時に約400人が集まり開始されました。

内容は3種目で、玉入れ、スプーンでピンポン玉を運びリレー、そして大縄跳びでした。体育局役員が議論してきたのは、ゼミによって男女比率もかなり違うので誰もが参加しやすい運動種目ということでした。役員はバタバタと走り回りながら準備し、学生は一生懸命ボールを投げたり走ったりジャンプしたり、それを盛り上げようと一生懸命応援する学生たちもいて会場は笑顔で溢れました。コロナ禍

短期大学部 学生委員 川島 均

でも、寒い季節でも、短大生みんなで共有できたこの学生生活のひとコマは貴重な思い出となりました。



## 2022年度 入試日程

### ■ 総合経営学部 (総合経営学科/定員90名、観光ホスピタリティ学科/定員80名)

選抜区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	総合経営	観光ホスピタリティ					
一般選抜A (全学共通)	20	15	松本大学・長野・新潟・甲府・高崎 松本大学	1月 3日(月) ~ 1月 28日(金)	2月 5日(土) 2月 6日(日)	2月 16日(水)	2月 24日(木)
一般選抜B (全学共通)	3	3	松本大学	2月 7日(月) ~ 2月 18日(金)	2月 25日(金)	3月 2日(水)	3月 9日(水)
一般選抜C (全学共通)	2	2	松本大学	2月 24日(木) ~ 3月 9日(水)	3月 14日(月)	3月 16日(水)	3月 23日(水)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	8	6		1月 3日(月) ~ 2月 4日(金)		2月 16日(水)	2月 24日(木)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期	2	2		2月 7日(月) ~ 2月 22日(火)		3月 2日(水)	3月 9日(水)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期	2	2		2月 24日(木) ~ 3月 10日(木)		3月 16日(水)	3月 23日(水)
外国人留学生選抜後期	若干名	若干名	松本大学	2月 7日(月) ~ 2月 18日(金)	2月 25日(金)	3月 2日(水)	3月 9日(水)

### ■ 人間健康学部 (健康栄養学科/定員70名、スポーツ健康学科/定員100名)

選抜区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	健康栄養	スポーツ健康					
スポーツ健康学科 総合型選抜 (指定競技Ⅱ期)	—	若干名	松本大学	2月 7日(月) ~ 2月 18日(金)	2月 25日(金)	3月 2日(水)	3月 9日(水)
一般選抜A (全学共通)	14	17	松本大学・長野・新潟・甲府・高崎 松本大学	1月 3日(月) ~ 1月 28日(金)	2月 5日(土) 2月 6日(日)	2月 16日(水)	2月 24日(木)
一般選抜B (全学共通)	3	3	松本大学	2月 7日(月) ~ 2月 18日(金)	2月 25日(金)	3月 2日(水)	3月 9日(水)
一般選抜C (全学共通)	若干名	2	松本大学	2月 24日(木) ~ 3月 9日(水)	3月 14日(月)	3月 16日(水)	3月 23日(水)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	10	10		1月 3日(月) ~ 2月 4日(金)		2月 16日(水)	2月 24日(木)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期	3	2		2月 7日(月) ~ 2月 22日(火)		3月 2日(水)	3月 9日(水)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期	若干名	2		2月 24日(木) ~ 3月 10日(木)		3月 16日(水)	3月 23日(水)

### ■ 教育学部 (学校教育学科/定員80名)

選抜区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	学校教育	教育実践					
スカラシップ選抜	7		松本大学・長野・新潟・甲府・高崎	1月 3日(月) ~ 1月 28日(金)	2月 5日(土)	2月 16日(水)	2月 24日(木)
一般選抜A (全学共通)	20		松本大学		2月 6日(日)		
一般選抜B (全学共通)	2		松本大学	2月 7日(月) ~ 2月 18日(金)	2月 25日(金)	3月 2日(水)	3月 9日(水)
一般選抜C (全学共通)	2		松本大学	2月 24日(木) ~ 3月 9日(水)	3月 14日(月)	3月 16日(水)	3月 23日(水)
大学入学共通テスト利用スカラシップ選抜	3			1月 3日(月) ~ 2月 4日(金)		2月 16日(水)	2月 24日(木)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	10			1月 3日(月) ~ 2月 4日(金)		2月 16日(水)	2月 24日(木)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期	2			2月 7日(月) ~ 2月 22日(火)		3月 2日(水)	3月 9日(水)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期	若干名			2月 24日(木) ~ 3月 10日(木)		3月 16日(水)	3月 23日(水)

### ■ 松商短期大学部 (商学科・経営情報学科/各学科 定員100名)

選抜区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	商	経営情報					
一般選抜A	6	6	松本大学・長野・新潟・甲府・高崎	1月 3日(月) ~ 1月 28日(金)	2月 5日(土)	2月 16日(水)	2月 24日(木)
一般選抜B	2	2	松本大学	2月 16日(水) ~ 3月 6日(日)	3月 9日(水)	3月 16日(水)	3月 23日(水)
一般選抜C	2	2	松本大学	3月 8日(火) ~ 3月 18日(金)	3月 23日(水)	3月 25日(金)	3月 29日(火)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	6	6		1月 3日(月) ~ 2月 4日(金)		2月 16日(水)	2月 24日(木)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期	2	2		2月 16日(水) ~ 3月 7日(月)		3月 16日(水)	3月 23日(水)
大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期	2	2		3月 8日(火) ~ 3月 18日(金)		3月 25日(金)	3月 29日(火)
外国人留学生選抜後期	若干名	若干名	松本大学	2月 7日(月) ~ 2月 18日(金)	2月 25日(金)	3月 2日(水)	3月 9日(水)
社会人総合型選抜Ⅲ期	若干名	若干名	松本大学	3月 8日(火) ~ 3月 18日(金)	3月 23日(水)	3月 25日(金)	3月 29日(火)

### ■ 松本大学大学院/健康科学研究科

選抜区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	博士前期	博士後期					
選抜Ⅱ期 (一般学生、学内推薦、社会人)	3	1	松本大学	1月 3日(月) ~ 1月 28日(金)	2月 6日(日)	2月 16日(水)	2月 24日(木)

### ■ 松本大学大学院/総合経営研究科 [2022年4月新設]

選抜区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	修士課程	博士課程					
選抜Ⅱ期 (一般学生、学内推薦、社会人)	2		松本大学	1月 3日(月) ~ 1月 28日(金)	2月 6日(日)	2月 16日(水)	2月 24日(木)

詳しくはホームページでご確認いただくか、入試広報室までお問い合わせください。

[www.matsumoto-u.ac.jp](http://www.matsumoto-u.ac.jp) ☎0120-507-200

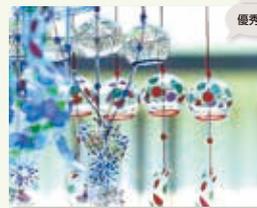
### 学生会報局企画

## 「第1回松本大学 フォトコンテスト」を開催

学生会報局が企画として「第1回松本大学フォトコンテスト」を実施しました。「夏」をテーマに本学学生や教職員に参加を募ったところ、50作品を超える多くの応募がありました。応募された作品から、学生投票により、右記の通り入賞作品が決定しました。今回初めての試みとして企画されましたが、これを機に学生会報局がさらに活発になることを期待しています。



【最優秀賞】Karinさん「夏を全て」



【優秀賞】もぐらさん「夏が過ぎていく」



【テーマ賞】スポ科3年さん「ヒマワリ」



【学生会報賞】Vさん「夕、燦爛」



【報道局賞】なかつさん「ナツノカケラ」

## 編集後記

今年もコロナに振り回された年でした。世界的なイベントである東京オリンピック・パラリンピックも無観客での開催となりました。それでも、新しい競技では13歳前後の選手が金メダルを取るなど、日本人選手の活躍が多くの夢や希望を与えてくれました。長野県でも8月第3週をピークに過去最高の感染者が記録されました。それを受け、本学でも後期最初の2週間は完全オンライン授業への対応を余儀なくされました。現在は、本学でも実施した希望者へのワクチン接種も進み、幸いなることになり落ち着いた状況です。この間、あらゆる面で人々の意識も変わり、社会も大きく変わりましたが、本学としては、どのような環境にでも対応できる人材を育てていくことに変わりありません。

(記・入試広報委員長 山田 一哉)



〒390-1295 長野県松本市新村2095-1  
TEL 0263-48-7200 FAX 0263-48-7290  
[www.matsumoto-u.ac.jp](http://www.matsumoto-u.ac.jp)